

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 38

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 百 濟 洋 一
会長エレクト 切 石 博 之
副 会 長 瀧 田 浩 彦
幹 事 三 木 武 志
会報委員長 福 岡 康 民

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の手に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 1768 例会 平成 22 年 5 月 31 日 (月曜日) 第 38 号

本日の例会

5月31日(月)第4例会

- ◎ソング 「四つのテスト」
- ◎卓 話 「24時間100km歩く会の紹介と体験談」
(担当:金子勝信会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

6月7日(月)第1例会

- ◎卓 話 「温泉文化」
(担当:松浦永郁会員)
- ◎本日の献立 軽 食

前回の例会記録

5月20日(木)第3例会

「春の家族会」
有馬温泉 「欽山」 日帰り夕食会

会 長 挨拶

会長 百濟洋一

本日は移動例会です。ご参加の皆様並びに家族の皆様、日頃は東大阪中央ロータリークラブの活動にご理解とご協力を賜わり、この場をお借りしてお礼申し上げます。

当クラブの春の家族会は毎年1泊2日の家族旅行でしたが、今回日帰りの家族会を親睦委員会とともに企画しました。この有馬温泉の「欽山」にて、温泉に浸かり、美味しい懐石料理を味わい、今宵は会員ご家族の皆様と懇親を深めたいと思います。そして親睦委員

会では、切石会員指導の下、俳句・川柳を作って頂く企画をされております。楽しんで頂けるものと思います。私も楽しいビールを飲み、楽しい時間を過ごしたいと思っております。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 三木武志

1. 本日、春の家族会(移動例会)のため5月24日(月)は振替休会です。ご確認をお願い致します。

出席報告

小川委員

本日の会員数	41名
本日の出席者数	16名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	59.26%
5月10日の修正出席率	88.57%

委員会報告

親睦活動委員会

委員長 浅野光男

春の家族会、有馬温泉欽山、日帰り食事会に会員16名、ご夫人6名、計22名の参加によりまして開催されました。和気あいあいの夕食会の中、川柳下の句当てクイズや俳句及び川柳の会を行ない、切石会長エレクトの厳正なる審査の結集、次ぎの句が入選致しました。俳句の部

1席 湯煙の 向こうに見える 初夏の山

細川勝治会員

2席 有馬にて ビールが飲める 仲間たち

百済洋一会長

佳作 新緑の 初々しきか 有馬山 細川会員奥様
川柳の部

1席 有馬の湯 妻がきれいに 成ればいい

小川高弘会員

2席 いい湯だな 家族に乾杯 美味三味

森 豊一会員

佳作 風になれ 愛を運ぶ 風になれ 森 会員奥様

金湯の 湯気押し分けて 薫る風 切石会長エレクト
*ご参加の会員並びに奥様方に感謝致します。ご協力
有難うございました。

[ロータリーの友5月号より]

エバンストン便り

RI指定記事

[訳文提供 国際ロータリー (RI) 世界本部]

2010-11年度は

青少年への取り組みに力を注ぐ

「若者たちに手を差し伸べることが来年度の重要な焦点になる」。1月にサンディエゴで開かれた2010年度国際協議会で、レイ・クリンギンスミスRI会長エレクトはこのように述べました。平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、そしてロータリー青少年プログラムは、次期ガバナーのための年次研修会で注目を浴び、地区の若者に対する熱意を新たにしました。

また、ポリオ撲滅とロータリー財団未来の夢計画も、RI会長エレクトの来年度の最重要課題となっています。未来の夢計画の6つの重点分野は、平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展です。

協議会に先立ち、3年間の未来の夢計画の試験段階に参加する100の試験(パイロット)地区のリーダーたちが、2日間にわたって新しい補助金システムについての研修に参加しました。「進むべき道が見えてきたような気がする」と話すのは、第9270地区(南アフリカ)の次期ガバナー、リチャード・アルボロー氏です。

「より良い方法を見つけるために、これまでのやり方を見直すことができ、気持ちが新たにになりました」

協議会では、研修のほかにも、参仕プロジェクトについて話し合ったり、ネットワークを築いたりする機会が設けられました。「ロータリーの国際性を肌で感じることができた」と感想を述べたのは、第9910地区(ニュー・カレドニア、ニュージーランドの一部、ノーフォーク、バヌアツ)のガバナーエレクトであるマクシオン・ネイバー氏です。「同じような問題を抱えている人の意見を聞くことができ、自分だけではなかったのだとわかりました」

協議会の2週間ほど前に発生したハイチ大地震のことを、参加した誰もが気にかけていました。ガバナーエレクトたちは、自分たちが指揮する次年度の緊急支援活動の例として、ハイチの人道的ニーズについて大いに議論を交わしました。

次年度RIテーマの発表は、協議会の伝統です。2010-11年度のテーマを決める上で、ロータリアンではない人たちへのメッセージを含めたかったと、RI会長エレクトは言います。「2つの目的をかなえるテーマを見つけないと思いました。1つは、ロータリアンではない人たちに向けて、ロータリーについて説明すること、もう1つは、ロータリアンに向けて、自分たちの活動を再認識してもらうことです。ロータリーの現在の使命を表し、私たちが得意とすることに焦点を当てた結果、最終的に選んだテーマは“地域を育み、大陸をつなぐ”です。」

「このテーマがとても気に入った」と言うのは、第5020地区(カナダの一部、アメリカの一部)の次期ガバナー、ロバート・マーチン氏です。「来年度、私はロータリーの誇りを地区で推進していくつもりです。“地域を育み、大陸をつなぐ”というテーマは、私たちみんなの誇りです」

協議会の終わりに、ガバナーエレクトたちは今回の経験を振り返りました。第3271地区(パキスタン)のサイド・シャハブ・バルヒー氏は言います。「以前から知識はありましたが、前と違うことは、それをどうやって生かしていくかがわかり、実行への意欲がわいたことです」

ードンナ・ポリドロス